



子どもへの新型コロナ感染が急拡大 安全・安心な教育環境と学びの保障を！



8月27日、2学期開始を前に、共産党市議団と党地区員会で熊本市教育長へ緊急申し入れ

(要望事項)

- 1、分散登校やオンライン授業は、柔軟に運用すること。分散登校では、保護者の減収・失職を招かず、過度な家庭の経済的負担とならないよう、状況に合わせ柔軟に対応する。
- 2、保護者・子どもが感染対策等で登校を見合わせる場合、「欠席扱いしない」対象を狭めず柔軟に対応し、登校を見合わせる子どもたちの学びや成長を教育にきちんと位置付けること。
- 3、教室でのエアロゾル感染防止へ、短時間で全換気を行い、教室では教師・子どもが不織布マスクをつけるよう（つけることが困難な子どもは除く）指導し、必要な子どもには不織布マスクを支給すること。
- 4、学校現場でのクラスター対策のため、検査を拡充すること
 - (1) 陽性者が出た場合、濃厚接触者を狭くみず、学級・学年・全体など、PCR検査を行政検査として広く行うこと。
 - (2) 無症状感染者の発見・保護へ、教職員・子どもへ自宅でできる定期的な迅速検査を実施する。（ドイツは児童生徒に週2回の迅速抗原検査）
- 5、感染拡大時は通常の授業時数を確保することが難しいので、国に対し学習指導要領の弾力運用を求めるとともに、限られた時間で実態に合った精選された学習内容を提供していくこと。
- 6、コロナ禍に欠かせない学びとして、子どもと保護者が、科学的根拠に基づくウイルスへの理解と感染対策を学ぶ場をつくること。
- 7、児童育成クラブでは、余裕教室の活用などをさらに広げ、基準を上回る保育面積を確保し、今以上の感染防止対策を実施する。指導員のワクチン接種は、職域接種として、優先的・速やかに実施する。

教育長「申し入れ内容はどれももっとも」と前向き対応を表明

教育長は、「授業のやり方については、ハイブリッド授業などのモデル校実施を踏まえ、検討を重ねた上で分散登校・オンライン授業とした。申し入れの『柔軟な対応』については、今後趣旨を踏まえ対応」と述べました。

また、申し入れ全体についても、「申し入れはどれももっともな内容である」と、前向きに対応していく考えを表明しました。いよいよ2学期、コロナ禍の学校では、安全安心な教育環境と学びの保障が必要です。

【控室から】 2学期のはじまり

上野 みえこ



2学期が始まりました。コロナ禍の夏休みは目立ったイベントもなく、家で静かに過ごす日々が続き、とても長い夏休みだったように感じました。そのほとんどを山深い田舎で過ごした孫は、カブトムシなどをおみやげに、うれしそうに帰ってきました。初日の8月30日、勢いよく玄関を駆け下りてきたかと思うと、靴を履き、「行ってきま〜す！ 37度」と、元気よくあいさつをして出掛けていきました。新型コロナウイルスが猛威をふるい、子どもたちへの感染が広がる中での2学期は、「まん延防止等重点措置」期間中の分散登校・オンライン授業等によるスタートとなりました。それでも子どもたちにとっては、みんなに会える、うれしい・うれしい毎日の始まりです。一方で、3密を避け、感染防止対策を万全に、身体的距離をとり、マスクの着用を徹底するなど、集団で過ごすことにさまざまな制約のある日々が続きます。しかし、学校と家庭が一緒になって、ある時は危機感を共有し、ある時は楽しさを創り出しながら、コロナ禍の子どもたちのちと暮らし・学びを、大人の責任で、しっかり守っていかねばならないと思います。子どもたちの成長は、私たちの「宝物」です。

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議

NO. 1248
2021年9月5日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党熊本市議団



検索



上野みえこ なすまどか
(中央区) (東区)

【9月議会に提案された補正予算の主なもの】



日本共産党熊本市議会だより 2021年9月5日号 (No.1248)

補正予算のうち、新型コロナウイルス感染症の緊急対策

- ワクチン接種体制の充実・強化 13億6,300万円
・対象年齢の引下げに伴う12歳以上の全対象者への接種体制の整備や接種証明書の発行等
- 検査体制と医療提供体制の維持 3億6,000万円
・今後の感染拡大に備えたPCR検査体制や感染者の入院医療費の確保
- 社会福祉施設等の感染拡大防止対策への支援 1億9,900万円
・介護施設等への簡易陰圧装置設置や仕切り等の整備に対する助成
- ウイルス変異株の監視体制の強化 400万円
・環境総合センターにおけるウイルスのゲノム解析が可能な次世代シーケンサーの導入（機器購入）
- 孤独・孤立で不安を抱える女性への支援 400万円
・不安を抱える女性の実態把握や相談支援、居場所づくり等（国の「地域女性活躍推進交付金」を活用）
- 安心して飲食店等を利用できる環境の整備 2,300万円
・市内飲食店等に対する県の感染防止対策認証制度の周知や申請勧奨
- 保育の質の向上に向けたICT環境の整備 2,200万円
・公立保育所におけるICT機器や保育業務支援システムの導入等
- 障がい福祉分野の生産性向上に向けたICT化支援 600万円
・障がい福祉サービス事業所等へのICT機器等の導入に対する助成
- 介護業務の負担軽減等へのロボット技術活用支援 100万円
・障がい福祉サービス事業所等への介護補助機器の導入に対する助成
- 市税還付金 2億2,000万円
・コロナ禍の影響を受けた法人等に対する過年度に徴収した市税の還付金

* 「新型コロナウイルス感染症にかかる緊急対策【第21弾】」に対応する分の補正予算です。 **総額 22億308万7千円**

補正予算の主要事業

- 新たな日常に向けたデジタル市役所推進経費 350万円
自治会や地域公民館等の補助金申請のオンライン化等をすすめる経費他
- 公民館活動推進経費 630万円
公民館の時間貸し等に対応した公設公民館予約システム構築経費
- 現代美術館管理経費 13万円
現代美術館駐車場の利用料値下げに伴う返還金 
- 千葉城地区保存活用関係経費 16億8,064万円
千葉城町NHK跡地購入経費
- 森づくり推進事業 300万円
2022年熊本開催の「全国都市緑化くまもとフェア」の会場となる立田山に「木育広場」を整備する経費 
- バリアフリーマスタープラン策定事業 320万円
「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」に基づく移動等円滑化促進方針（マスタープラン）の策定に係る経費
- バス交通運行効率化関係経費 350万円
共同経営に取り組んでいるバス会社5社で利用可能な「共通定期券」の導入経費に対する助成
- 義務教育学校推進経費 810万円
天明校区に設置をすすめる小中一貫校整備に向けた基本計画の策定等に係る経費

* 上記のほか、高齢者施設等の非常用自家発電機設置への助成、中心商店街の回遊性向上・空き店舗対策、スポーツコンベンションへの助成、学校事故の和解経費などがあります。

(熊本地震関連)
義捐金配分の経費
(対象者へのお知らせや払い込み手数料)
5,110万円